

2015年

# 黄色ブドウ球菌／サルモネラ属菌通知法改正の概要

## 試験法改正の背景

平成27年7月29日に食品、添加物等の規格基準に定めるサルモネラ属菌および黄色ブドウ球菌の試験法改正の通知<sup>\*1</sup>が厚生労働省から出されました。「各国が独自のマネジメント方法を持ち微生物基準を決めるということは避けるべきで、原則としては食品の国際標準を決めるコーデックスの基準やガイドラインに従うことが求められている。<sup>\*2</sup>」という考え方の通り、わが国の食品微生物のリスクマネジメント方法も国際情勢に合わせたものと変わりつつあります。その一環として今回の試験法改正は実施されています。

\*1 平成27年7月29日付 食安発0729第4号「食品、添加物等の規格基準に定めるサルモネラ属菌及び黄色ブドウ球菌の試験法改正について」  
\*2 月刊HACCP2015年6月号「食品企業が信頼される微生物検査体制を構築するために、どのような試験法を選択したらよいか」より抜粋

## 試験法改正の主なポイント

### 黄色ブドウ球菌

今回の改正では、従来の定義と異なり、ISO 6888-1 で定義されるコアグラージェ陽性菌が検出対象とされました。また、選択分離培地は国際的に黄色ブドウ球菌測定用培地として実績のあるベアードパーカー寒天培地が主たる培地となりました。

#### 従来の試験法

検出目的	黄色ブドウ球菌の検出
希釈水	ペプトン加生理食塩水
選択分離培地	卵黄加マンニット食塩寒天培地
培養温度	35±1℃
培養時間	24～48時間
ストマッキング時間	30秒

#### 改正された試験法

コアグラージェ陽性菌の検出
BPW (ISO 6579 に準拠した組成)
ベアードパーカー寒天培地 (※3%卵黄加マンニット食塩寒天培地も代替可)
37±1℃
48±2時間
60秒

### サルモネラ属菌

今回の改正では、従来の食肉または殺菌液卵を対象にした異なるサルモネラ属菌の試験法がNIHSJ (NIHSJ-01-ST4) 法に統一されました。試験法の統一に伴い、食肉または殺菌液卵の試験法で異なっていた検出対象のサルモネラ属菌の定義も「硫化水素産生および非産生のサルモネラ属菌」に統一されました。

#### 従来の試験法

検査法		2種類	食肉対象のサルモネラ検査 殺菌液卵のサルモネラ検査
検査目的	食肉		硫化水素産生のサルモネラ属菌の検出
	殺菌液卵		硫化水素産生および非産生のサルモネラ属菌の検出
前増菌培地	食肉		EEM 培地
	殺菌液卵		0.2 g/L システインまたは 64mg/l FeSo4・7H2O 添加 緩衝ペプトン水
選択増菌培地	食肉	2種類	セレナイトプリリアントグリーン培地 ----- セレナイトシスチン培地または ハーナ・テトラチオン酸塩培地
		2種類	ラパポート・バシリアディス (RV) 液体培地 テトラチオネート (TT) 液体培地
	殺菌液卵	2種類	ラパポート・バシリアディス (RV) 液体培地 テトラチオネート (TT) 液体培地
		2種類	ラパポート・バシリアディス (RV) 液体培地 テトラチオネート (TT) 液体培地
選択分離培地	食肉	1種類	硫化水素産生によって判定できる培地
	殺菌液卵	2種類	硫化水素産生によって判定できる培地 ----- 硫化水素産生にかかわらず判定できる培地

#### 改正された試験法

1種類	NIHSJ法 (NIHSJ-01-ST4) に統一
1種類	硫化水素産生および非産生の サルモネラ属菌の検出
1種類	BPW (ISO 6579 に準拠した組成)
2種類	ラパポート・バシリアディス (RV) 液体培地 ----- テトラチオネート (TT) 液体培地
2種類	硫化水素産生によって判定できる培地 ----- 硫化水素産生にかかわらず判定できる培地

# 3M™ ペトリフィルム™ 培地 関連製品

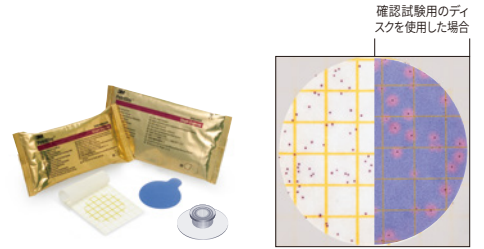
3M™ ペトリフィルム™ 黄色ブドウ球菌測定用プレート、3M™ ペトリフィルム™ サルモネラ属菌測定用システムは、妥当性確認された試験法として高い信頼性のある試験法です。

(AOAC OMAの認証を取得しています。また、食品衛生検査指針 微生物編 2015にも収載されています。)

## 3M™ ペトリフィルム™ 黄色ブドウ球菌測定用プレート

### ベアードパーカー培地を使用

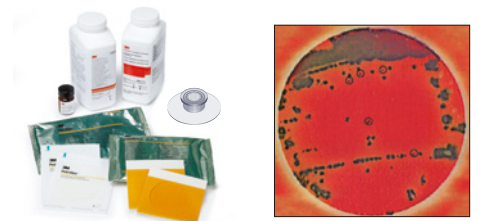
- 24±2時間で判定可能
- 1～3時間でコアグララーゼ試験と同等の確認試験が可能



## 3M™ ペトリフィルム™ サルモネラ属菌測定用システム

### 硫化水素産生、非産生両方のサルモネラ属菌を一枚のプレートで確認可能

- 4～5時間で確認試験が可能
- 低夾雑検体※は選択増菌培養が不要（検査時間を1日分短縮可能） ※≤10<sup>4</sup>CFU/g



### 3M™ Petrifilm™ Salmonella Express System

**ローバックグラウンド (低夾雑菌) の検体**

前増菌培養: 18~24hrs

選択増菌培養: 0hrs

選択分離培養: 22~26hrs

**Total 40~50hrs**

**ハイバックグラウンド (高夾雑菌) の検体**

前増菌培養: 18~24hrs

選択増菌培養: 20~24hrs

選択分離培養: 22~26hrs

**Total 60~74hrs**

確認培養 (生化学的反応と同等): 4~5hrs

判定: **Total 44~55hrs** (ローバックグラウンド)

判定: **Total 64~79hrs** (ハイバックグラウンド)

特徴: ディスク1枚挿入するだけで確認培養が可能、短時間で判定可能、通知法と比べてトータル約1/2の時間で判定が可能

### Traditional Agar Method

通知法: 「食品、添加物等の規格基準に定めるサルモネラ属菌及び黄色ブドウ球菌の試験法の改正について」(平成27年7月29日付食安発0729第4号)

前増菌培養: 20~24hrs

選択増菌培養: 20~24hrs

選択分離培養: 20~24hrs

**Total 60~72hrs**

確認培養: 20~24hrs

判定: **Total 80~96hrs**

製品番号	製品名	入目/箱
6490STX	3M™ ペトリフィルム™	50枚入 (25枚×2袋)
6491STX	黄色ブドウ球菌測定用プレート	500枚入 (25枚×20袋)

製品番号	製品名	入目/箱
6536SALX	3M™ ペトリフィルム™	50枚入 (25枚×2袋)
6537SALX	サルモネラ属菌測定用プレート	200枚入 (25枚×8袋)

※3M™ ペトリフィルム™ サルモネラ属菌測定用システム (SALXシステム) をご利用いただくには、3M™ サルモネラ属菌用前増菌基礎培地ならびに3M™ サルモネラ属菌用前増菌サプリメントが併せて必要になります。詳細は別途製品カタログをご参照ください。

Web ペトリフィルム Q

3M, Petrifilm, ペトリフィルムは3M社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社  
 フードセーフティ製品部  
<http://go.3M.com/foodsafety.jp>



Please Recycle. Printed in Japan.  
 © 3M 2020. All Rights Reserved.  
 MIC-192-C

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで  
**0570-011-321**  
 8:45~17:15 / 月~金 (土日祝年末年始は除く)